

**アークフラッシュ施工された老人施設 7 年間インフルエンザの発症が報告されておりません。**

< \* > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

<< **インフルエンザ情報** >>

米国の研究者らは 28日、4月にインドネシアで報告された H5N1 型鳥インフルエンザウイルスが、人から人へ感染したことを数理解析によって確認したと明らかにした。

シアトルにあるフレッド・ハッチンソンがん研究所のアイラ・ロンギニ氏率いる研究チームが、医学誌『Emerging Infectious Diseases』で発表した。同チームは、病気の発生に際し危険な伝染病や流行病が発生しているかを即座にテストするソフトウェアツールを開発したという。研究チームによると、昨年インドネシアのスマトラ島で家族 8人が死亡した事例とトレコで 8人が感染、うち 4人が死亡したケースを調べたところ、スマトラの事例のみ人から人に感染した統計上の証拠が確認できたという。

トレコの事例については「単に統計上の証拠が見つからなかっただけ」で、それが「人から人への感染が起こらなかったということにはならない」と指摘している。

専門家らの間では、スマトラのケースは人から人への感染との見解でほぼ一致しているが、そのことを立証するさらなる材料が待ち望まれていた。

独南部バイエルン州のエアランゲン近郊にある農家で高病原性の鳥インフルエンザの感染が確認され、27 日までに 16 万羽のカモが処分された。同日付バイエルン放送 (電子版) が伝えた。

この農家では 24 日、約 400 羽の家禽 (かきん) が死んでいるのが見つかった。同州の環境省は 25 日夕、バルト海のリームス (Riems) 島にある連邦動物ウイルス病研究所による検査の結果、H5N1 型ウイルスが検出されたと明らかにしている。

今回の家禽の処分は国内でも過去最大規模という現場から半径 3 キロ以内は「保護区域」に指定され、立ち入りが禁止されている。

現在のところ、感染経路は不明。問題のカモは 4 週間ほど前に北西部ニーダーザクセン州から移送されてきたものだが、そちらでは感染は報告されていない。

**富山県南砺市福野の焼き肉店「炭火焼はな牛」**の利用客から病原性大腸菌「O157」が検出された問題で、県は 31日、新たに 20、24両日の利用者 2人を含む 30~ 50代の男女 3人が感染したと発表した。感染者は計 17人となった。同店は 31日、営業停止処分を終えたが、1日以降も当面営業を自粛するという。

<< 株式販売のお知らせ >>

アークフラッシュ本部の株式の中でフクシンなど本部規定を破った為に除名にした旧幹事会社の買い取り株式を希望者に販売いたします。

10株単位で1株当り5万円です。希望者はお知らせください。

<< 工事発注状況 >>

埼玉県 K 市に建設予定の大手スーパーマーケットのショッピングモール(約10万坪)に光触媒が施工される事になった。大手ゼネコンから指定見積依頼がきている。

施工が発注された際には、千葉県白井の現場と同様に多くの施工代理店からの工事参加を希望しております。

本部まで申込みを行ってください。

**\* 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [sasagawa@arc-flash.com](mailto:sasagawa@arc-flash.com)

1号～78号までを配信希望の方はメールにて申込ください。